



ひ - び - き

令和 2 年 6 月 2 2 日

夏本番近し!



6月1日から再開した学校。再開から3週間が経過しました。

これまで経験したことのない出来事に、きっと大人以上に子どもたちは小さなところに大きな不安を抱えていたことでしょう。その時にくるってしまった生活リズムを、なかなか立て直せずに苦しんでいる子もいます。もう少し時間が必要かもわかりません。

この3週間の生活を通して、なにげない、ごくあたりまえの普通の生活ができる「ありがたみ」をしっかりと味わうことができました。このように過ごせる毎日に感謝しながら、1日1日を大切にすごしていきたいと考えています。

さて、暑くなってきましたが、昨年整備いただいた空調のおかげで、子どもたちは快適に学習に取り組んでいます（マスクをしているのは少々苦痛ですが…）。快適な中でも熱中症にはなってしまうことはあるそうです。水分は毎日多めに持たせてやっていただきますようお願いいたします。

マスクの着用について(暑くなってきたので、学校ではこのように指導しています)

- 登下校時、マスクをはずしてもOK！（但し、人との距離をとること）
- 体育の時間はマスクなしで行う。
- 休み時間、外で遊ぶときはマスクをはずしてもOK！（室内では着用）
- 教室での授業中については、基本的に着用する。



ただし、しんどいと感じるときには、はずしてもかまわない。

暑くなってきて、できることなら…ですが、でも、いのちを守るためにはちょっとがまん！

今年度、学校全体で力を入れて取り組みます！

① 「対話」(話し合い)に力を入れます！

子どもたちは、集団の中で学び、高められていきます。自分と異なる多くの考えにふれ、どうしてだろうと考える中で、学びは深まっています。

みんなでいろいろな意見を出し合い、それについて意見を交流して、「なんかおもしろかったなあ」「もっとやりたかったなあ」と、子どもたちからそんな声があがるような授業。みんなと一緒に勉強してよかった、楽しかったと思えるような授業。そんな授業を目指していきます。



② 体幹を鍛えます！

本校はここ近年、「姿勢が悪い」という専門の先生からの指摘を受けています。その要因の一つに、体幹が弱い。つまり、よい姿勢をキープする筋力が弱いということです。

そこで、毎日、全校でちょっとした体幹を鍛える運動をしようと考えています。

朝の会で、1分程度ですが、「くねくね体操」「がにがに体操」をやります！

どんな体操なのかは、子どもたちに見せてもらってください！

何でも『継続は力なり!』です。続ければ本物になる！ とりあえず、続けてみます。



がんばりタイムが始まりました！

—放課後補充学習—



放課後を使った補充学習「弘道がんばりタイム」を6月からスタートしています。

がんばりタイムは、火曜日と水曜日の放課後の時間を利用し、3年～6年を対象に算数の補充学習を行うものです。算数はまさしく積み上げ型の教科なので、わからず積み残すと、どんどんわからないが増えていってしまい、ついには、「算数がわからない」、「算数嫌い」という子をつくってしまいます。

そこで、放課後の時間をつかって、わかること、できることを1つでも増やし、子どもたちに自信をもたせてやりたいと、個別の補充学習を実施しています。

したがって、一人一人の状況に応じて、スモールステップで学習を進めていきます。それを続けていくことが一番重要で、最後まであきらめず取り組ませていきたいと考えています。

【指導いただく先生】

3年；守本有杏 先生 4年；三宅貴士 先生 5年；守本有杏 先生 6年；中山玲子 先生

P. S

1年生、2年生の補充学習は、木曜日の放課後等を使い、行っていきますのでご理解をお願いします。

これから始める新しい取組！～コミュニティ・スクール～

学校は学校だけの力で実施することはできません。多くの方々に支えていただき、ご協力いただきながら取り組んでいく必要があると思っています。

私は本校に着任から5年目を迎えています。着任時からずっと感じているのは、この弘道地区の地域力の大きさです。保護者の皆様をはじめ、地域に多くの応援団の皆様がいてくださる。本当にありがたいなと思っています。その代表的な活動が、毎月土曜日に実施していただいている土曜チャレンジ学習事業（弘道わくわくクラブ）です。弘道コミュニティ協議会に全面的に応援していただき、素晴らしい活動を展開していただいています。

これからの時代は、少子・高齢化が進み、弘道校も児童数がどんどん減少していくことが予測されています。それだけに、地域の皆様と学校はもっともって力を合わせ、一体となって取り組んでいく必要があると考えています。

そこで、2学期から、学校運営協議会（コミュニティ・スクール）を設置し、これまで以上に地域と協働した学校運営を図っていききたいと考えています。

この学校運営協議会では、参画いただく委員の方から学校運営に関する意見をいただき、家庭・地域・学校が共通したビジョンをもち取り組んでいくことが可能になってきます。つまり、今まで以上に、地域と学校の間、強い結びつきができるというメリットがあります。

地域の声をいただきながら、地域にある学校として、地域と一体となって取り組んでいくイメージをもっていただけならと思います。

